学校番号	328

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新・高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次においては、まずデッサンの基礎を学びます。遠近法や明暗を使った立体表現などを行います。また、アクリルガッシュやポスターカラーなどを使った描写なども行います。美術の基礎を学びつつ、興味を持ってもらえるような授業ですので頑張って授業に参加して下さい。

2　学習の到達目標

知識及び技能
アクリルガッシュの正しい使い方を習得する。ポスターカラーを使いこなせるようになる。
彫刻刀の安全で正しい使い方を覚える。デッサンの基礎（立体的な表現や質感の表現など）を身につける。
思考力・判断力・表現力等
制作途中で自分の制作を振り返り、間違っていると判断したところはやり直し、どのようにすれば上手くいくか思考する習慣を身につける。
学びに向かう力、人間性等
授業には休まないで出席する。積極的に授業に参加し、周りの生徒といい影響を与え合い、密度の高い時間を過ごす。完成度の高い作品を完成させて、達成感をもつ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識 様々な道具について、正確な知識を持っているか。 技能 道具の正しい使い方をよく理解し、安全に道具を使い、作品の出来栄えにつなげている。 様々な画材の歴史や特徴をよく理解する。	アイデアスケッチを行うなどして自分の描きたいものや考えを整理する。画材の的確な使い方などを判断して魅力的な表現につなげる。	積極的に授業に参加し、見通しを持って制作し、完成度の高い作品を作るように努力する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	デッサンの基礎	・描画道具の使用方法 ・形のとらえ方 ・遠近法の指導 ・陰影を使った立体感のだしかた	a:モチーフを正確に描写できているか。 b:モチーフと画面をよく見比べ、リアルな画面になるように工夫しているか。 c:積極的に授業に参加し、完成度の高い作品を作っているか。	提出物	提出物	提出物 授業観察 ・振り返りシート
	アクリルガッシュを使った制作	・アクリルガッシュの使用方法 ・絵具を使った表現について ・色彩の基礎知識	a：アクリルガッシュを上手く使いこす。魅力的な画面を作りあげている。 b:いい構図を見つけ出している。色の使い方など工夫をして、魅力的な画面にしている。 c：積極的に授業に参加して、完成度の高い作品を制作している。	提出物	提出物	提出物 授業観察 振り返りシート
2学期	切り絵	切り絵の制作	a：完成度の高い、魅力的な画面になっているか。 b：下絵の段階で構図などをよく考えて制作しているか。時間配分にも気をつけているか。 c：積極的に授業に参加して、魅力的な画面を制作しているか。	提出物	提出物	提出物 授業観察 振り返りシート

	ポスター制作	・ポスターの歴史 ・題材選び ・下絵の制作 ・本制作	a：ポスターカラーを上手く使って、完成度の高い作品を制作しているか。 b:自分の関心のある題材を選び、題材に合った表現を模索しているか。 c：積極的に授業に参加して、完成度の高い作品を制作しているか。	提出物	提出物	提出物 授業観察 振り返りシート
3学期	筆箱の制作	・彫刻刀の使い方 ・箱のデザインの下絵制作 ・彫刻作業 ・絵具を使った着彩	A：彫刻作業、着彩作業ともに、完成度が高く、魅力的な作品になっているか。 ｂ:魅力的で個性的なデザインになっているか。デザインにあった彫刻作業ができているか。 ｃ：積極的に授業に参加し、完成度の高い作品になっているか	提出物	提出物	提出物 授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度